

立命館經濟學

第 32 卷 第 3 号

1983 年 8 月

内 容

論 説

マルクス・エンゲルスのボナパルティズム概念の

展開について (1)後 藤 靖 1

ケインズの資本主義經濟観の形成と展開 (1)松 川 周 二 38

——ケインズ経済学研究序説 I——

研 究

金融資本概念の理論的考察 (上)佐々木 秀 太 67

資 料

日本資本主義確立期の資本家名簿 (2)後 藤 靖 93

共同研究室..... 143

立 命 館 大 学 經 済 学 会

立 命 館 経 済 学 第32巻・第1号

論 説

- 貿易摩擦下の金融政策の国際的波及効果について……………本 田 豊
合衆国南部の「サンベルト」化の経済的意味（下）……………藤 岡 惇

研 究

- 貨幣・信用恐慌の発現過程における再生産と信用……………竹 味 能 成

資 料

- 京都における製造企業の現況……………若 林 洋 夫

発行所 立命館大学経済学会

立 命 館 経 済 学 第32巻・第2号

論 説

- 現代韓国経済分析序論……………岩 田 勝 雄
中京工業地帯における工業用水問題（Ⅲ）……………杉 野 罔 明
IBM 社の組織変革（3）……………坂 本 和 一

研 究

- 全米自動車労働組合（UAW）の成立……………佐 藤 卓 利
——失業者運動との関連で——

資 料

- 日本資本主義確立期の資本家名簿(1)……………後 藤 靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会